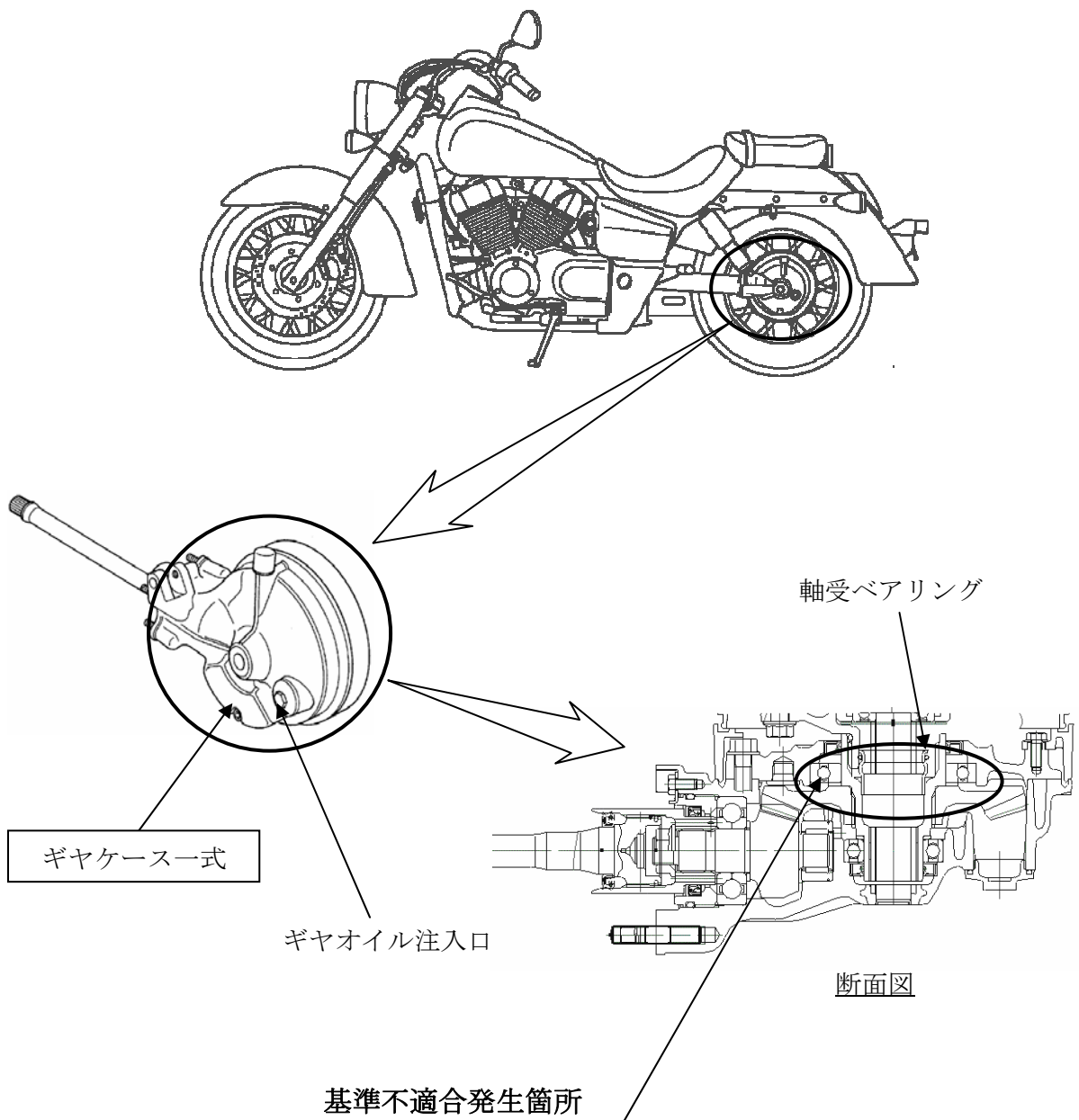




組立工程において、ファイナルギヤケースへのオイル注入作業が不適切なため、オイルが注入されていないものがある。そのため、そのまま使用を続けると、ギヤケース内部の軸受ベアリングが破損、異音が生じ、最悪の場合、ベアリングが焼き付き固着し、走行不能となるおそれがある。

### 改善の内容

全車両、ギヤケースのオイルの有無を点検し、オイルが注入されていないものは、ギヤケース一式を新品と交換する。

注：  は交換部品を示す。

識別：車台番号付近に赤色の識別ラベルを貼り付ける。